

あきる野の幸せの青い小鳥たち

会えたら
いいことが
ありそうな予感

あきる野
の美しい
青い鳥たち



環境… 町、河川敷など
時期… 一年中
備考… 近年は分布拡大のため増加し、比較的
シト口感のある頑丈な建物付近に見られます。

環境：山の渓谷に面した森林など
時期：主に夏季（4月～9月）
備考：今年は数がやや少ないですが、広く分布して
います。囀りは最高に美しい野鳥です。

環境：川や池などの水辺
時期：一年中
備考：意外と個体数が多く、河原を訪れると小魚な
どを捕獲するために潜水する姿がよく見られます。



環境… 山林や野原など
時期… 主に冬季（10月～4月）
備考… 秋が深まると高標高地などから飛来します。
あきる野の冬において最も美しい野鳥の一種です。

★★★ みなさんも、幸せの青い小鳥たちに会えますように！！！！



高温の時期が続きます？！

そんな中、あきる野の自然に触れあいながらできるだけ涼しく過ごしたいなら、渓谷沿いのレジャーなどで過ごすのもよいですが、大岳沢のような沢筋からの登山道もやはりよい選択肢です。沢沿いは清々しい風を浴びながらより快適に登ることができ、滝が存在するのであればなお更よいでしょう。また、あきる野の場合は標高差が大きいので、高いところまでたどり着くには体力が必要ですが、標高1,000m辺りの尾根に登り切った時は、山のいい風に恵まれることがよくあります。また、山頂を目指すのは山登りの基本とはいえ、実は山頂よりも山の尾根上の峠などの窪地の方が風通しがよく、過ごしやすい場所になることが多いのでこのような場所を探すのをおすすめします。

一方、真夏はやはり急な雷雨などが起こりやすいです。その場合は、最も涼し気である水辺や標高の高いポイントは同時に最も危ないところになるので、天気急変にできるだけ早く気付くように過ごすのが重要です。頭上に太陽があっても、周辺で雷が鳴ったり、風が強くなったりするなど。その場合は晴れていても、離れた流域で豪雨になることにより、目の前の川が急に増水することもありますので、やはり天気の変化やネット情報をチェックしましょう！

こうして、みなさんが注意し、訪れる地域の暮らしや生き物に配慮しながら自然を楽しんでいただければと思います。

今月のスター



出てきたよ～ ピカピカの黒い虫！

7月中旬、山でアブラゼミが鳴き始める頃の晴れの日、とある森林整備事業地の現場に立ち寄ってみたら、気になった甲虫が足元に現れました。ウロウロする2cm程度の黒い甲虫…。最初は、ルリクワガタの仲間やヒョウタンゴムシなどの体形に似ていて戸惑いましたが、違う虫であることに気づきました。その後調べたら、コクヌストという甲虫類の仲間の一種「オオコクヌスト」であることが分かりました。

ところで、初めて見たオオコクヌストは、アカマツなどのマツ科の樹木と面白い関係があります。実は、マツノマダラカミキリが媒介するマツノザイセンチュウの侵入により松枯れが起きるといわれています。どうやら、オオコクヌストはその媒介者であるマツノマダラカミキリの幼虫や蛹を捕食するため、マツ科の「益虫」となる存在だそうです。現在、アカマツなどの立ち枯れ木が目立つため、この小さな甲虫はとても頼もしい存在かもしれません。正しく、オオコクヌストを見つけたのは健全なアカマツの根本近くでした！

自然は本当に面白く、調べきれないほど複雑であることを改めて実感できた一日でした。私の豆知識のため、あなたの豆知識のためにも、いい出会いでした。

